

採れたて!!

# わかごぼうのニュース

No.40

発行 2017年7月  
八尾市パーソナルサポートセンター  
大阪府八尾市本町 1-4-1-201  
TEL:072-999-7900

## ある意味残念なクツキー

フォーチュンクツキーより定期的に織姫と彦星のドット絵風クツキーのアイデアが湧いてきて路線変更することになりました。色違いの生地を組み合わせた。色違いの生地を組み合わせればいけると思い、アイスボックスクツキーを応用する意見が出されました。この時点では色違いのキューブを組み合わせる一枚絵にするイメージでした。

生地を握って色分けし、厚みを均等に伸ばすとところまではわかっていましたが、冷やし固めた後、生地を切り分ける時に幅の違うものがいくつもできているのを見て違和感がありました。それをデザイン画通りに立体的に積み重ねていくと言われた時、頭の中が真っ白になりました。「これは、ダメだ。何やったらいいかわからない。」

そう感じた時、組み立てはイメージできてきた人に任せました。



「ああ。もう、疲れてきた。」  
「できるかな。こんな高度なやつ。」  
思わず本音が漏れます。予定よりもはるかに時間をかけてどうにか焼き上がったクツキーは、彦星だけですが、綺麗にできていました。

### 〇作ってみてどうでしたか?

・今回は上手くいかないことが多くて悔しく感じました。生地を握ねる等は出来たのですが、クツキーの完成形を自分がしっかりと理解できていなくて組み立てを他の方に任せっきりにしてしまいました。・自重で下の段がつぶれてしまった織姫を見て反省し、組み立てる順番とどこまでを一かたまりにするのが大切なんだと学びました。

自分が正しいと確信した時の隙は生まれるものだ。



ですよね〜

## 四百マスドット絵を作ろう

エクセル練習の一環で四百マスドット絵に挑戦しました。方眼紙状のセルに色を付けていくのですが、全体のバランスを取るのが案外難しかったです。しかし、一つできれば要領を得たのかどんどん量産されるようになっていました。下絵を先に描いた方がやりやすかったです。



400マス制限は結構厳しい。

何にでも制限はあるからな

わかごぼうは

失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのお話を学べるから。

八尾市社会的風土所 職業

わかごぼうに  
来ませんか?



### ☆参加対象になる方

「自分なりの社会参加の実現を考えたい」と望まれる方で次のうちひとつでも当てはまる方

- ◇6ヶ月程度、就労や訓練・試験勉強等から遠ざかっている自分を変えたい方
- ◇少人数の会話から話すことに慣れて自信を持ちたい方
- ◇行動範囲を広げるきっかけや家族以外の人と接点を持ちたいと望まれる方

※また、上記に該当するご家族・ご親族等のことでお悩みの方もお相談いただけます。(ご予約下さい。)



開催時間：毎週木曜日13:00-15:00

開催場所：わかごぼう

八尾市南本町7-6-23

※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ & 参加申込み

電話：072-992-6921

✉ : wakagobou@yaops.jp

電話受付時間：10:00-17:00 (祝日除く月~金)

自分のペースで参加できます。

わかごぼう

# 三ヶ月間の努力の結果は？

簿記試験の受験予定者は当初三人でした。三ヶ月の間それぞれに勉強を進めていきましたが、その間に一人は違う分野へ進路変更しました。さて、残る二人は？

試験対策を振り返ると、もっと効率の良い勉強の仕方があったなと思えました。一日数時間かけて勉強する割りには浅く基礎をなぞるような感じで、実際の設問では解き方がわからないから過去問題でも良い点が取れず、どんどんやる気を失ってしまいました。

また、実は簿記より運転免許の方が現実的に自分の進路選択の幅を広げるには効果的なんじゃないかと思いついてからは、更にモチベーションが低下しました。

それでも、一度は試験を受けるに決めたので受けましたが、わかりにくい試験官の残り時間アナウンスもあって、時間配分が狂いラスト十分からスタートしましたが

全ての問題に解答することはできませんでした。

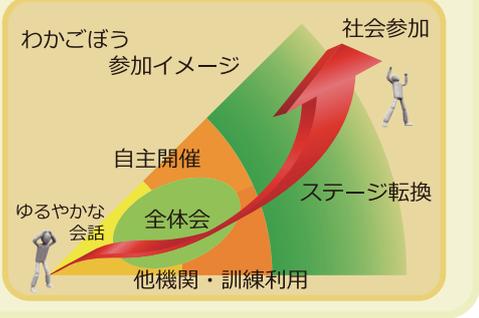
簿記試験まで三ヶ月。わかつてはいたけど時間が足りませんでした。自分の苦手な分野は一つあり、過去問題を解いた傾向からそのとうと予測してはいましたが、両方を十分に理解する時間がありません。それならと、ヤマを張り直前までテキストを読んで試験に臨みました。第一問、第二問と順調に自信を持って解答し、第三問で

ちよつと不安を感じて第四問で青ざめました。それでも一応解答して迎えた運命の第五問。自分の張ったヤマはハズレてました。「あー、そっちかー。」ガツカリしながら解答しましたが恐らく間違えているだろうなと思えました。後日の結果発表は、やはり残念な結果でしたが、しっかり勉強して秋に再挑戦しようと思います。

## 八尾市社会的居場所事業

### 「わかごぼう」について

スモールステップを積み重ねて自己を認容し元気を回復した後、自身が望む社会参加を実現する拠点になる事業です。



移植作業ってセンス要るよね。

イメージかと集中力があれば

「うーん、大分頑張ってますけど根が深くてわたしの技量ではなかなか。」「背中に蟻がいる。」「ひゃー……」「いろいろと甘いから。」  
**「甘くないよーたぶん、塩だらけですよ！」**  
 「で、根っこにこうやって土をつけて土ごと穴に埋める。」「あはい。」周りに土を入れていく。「そうそう。おおー上手上手。」「はあ、良かった。移植一個できましたね。」「よっさから蟻がいっぱいやねんけど。」「蟻の巣破壊するから。」「こうやって破壊したくて破壊したわけじゃないんですよ！」文句いながらも全移植作業終了。  
 「どちらの列が丈夫に育つか楽しみやなあ。」  
 「そんなんの師匠に決まってるでしょう。」  
 「いや、師匠は西側やろ。東側の方が有利やねん。」  
 「そうなんですか？」「今までの作物は東側の方が生育良かったからね。まあこれで負けたら……。」  
 「あうあうあうあうあう。」

## トワガンの移植作業をしてみたい



トワガンが育ってきたので畝の拡張をスコップでシャシャシャとしてから移植作業を行いました。

「おおー上手いな。飲み込みが早い。」  
 「えー。なにそれ。もう、そこまでできるの？」「ちよつと、速すぎて最後らへんわからなかったんけど。」「見てたん？」「いや、師匠の職人技を。」「もう一回よう見ときや。」  
 「あうううう。」「しかし、凄いな。根が。」  
 「うわあ……。大体理解はしましたよ。理解はしましたけど。」「したけど何や？」「いや、師匠がうますぎるなって。」「わかった。自信がないねんな。じゃあ、もう直接ご指導していただきなさい。」



「まず、根の周りの土を深く掘ってゆつくりテコの原理で掘り起こす。」  
 「あ、はい。」「うわーなんか黒い。」  
 「何、黒いつて？」「あー蟻の巣ある。」  
 「うううう。これ、けつこう根が深いパターンですよ。」「それじゃあ、もっと深く掘る。」「あ、はい。」「で、植える用の穴をあけて。」「あ、はい。」「次に根をほぐす。」

## 一人じゃなかなか行けないけれど

大型書店にみんまで行きました。専門書他に趣味の本が本当に充実していました。狙撃銃・過去の時刻表・クラフト・人体構造・廃墟・階段・ミクロスコープ、鳥に虫に毒草薬草、狩猟免許やフォントデザイン、アプリ開発なんかもありました。見回っているだけで楽しくて、あつという間に時間が経っていて驚きました。その中でも一番盛り上がったのはドローンです。

「すごい！これドローン入ってる。いくらするのこれ？」  
 「一万？ちよつと買ってきて。」  
 「いやいやいや。ないわー。ないない。」  
 「じゃあ、ドローン作ってーから。」「モーターが無理。」  
 「でも、これドローン作るやつじゃないですか？」  
 「作れるの？」「ある程度組み立てるやつですよ。」  
 「ホンマや。材質発泡スチロールで書いてある。」  
 「そんなんで作れるの？すごいなー。」  
 「写真撮る企画あがってたやん。あれ、ドローンで空撮できへんかなあ？」

「でも、ドローンで扱い難いって聞きますよね。」  
 「飛ばすことはできたとしても着地失敗で壊しそう。」  
 「さすがに買いませんでした、みんな自分が好きな本の前では笑顔になったり、テンションが上がっていて、普段と違った顔を見れたりして面白かったです。」

### わかごぼう



来月は真夏の夜にピツタリなお香、蚊取り線香、涼を取るための水うちわの自作にそれぞれ挑戦します。  
 他にも農園観察やパワースポットで元気になる遠足企画、夏メニューで体力増強企画なんかも予定されています。もちろん、ボランティア活動もありますよ。行きたい時が参加時。最初の半歩がここにある。八尾市社会的居場所事業わかごぼう新規参加者募集中です。

各イベントは天候や参加人数により延期や中止の場合があります。